

環境教育・啓発

教育・啓発活動を通じて、社員一人ひとりの意識改革を進めています。

全員参加の環境経営を実りあるものにするためには、トップの意思表示や各部門での積極的な活動はもちろん、社員一人ひとりの意識改革を促進する活動が重要です。なぜなら、環境経営は企業としての活動ではあるものの、実際は社員一人ひとりが行っている活動だからです。リコーグループには、全世界で74,000人の社員がいます。社員の意識の持ち方によって、同じ活動でも、その成果は大きく異なってきます。リコーグループでは、社員への環境教育をはじめ、ITネットワークによるノウハウの共有化、ごみゼロ活動、環境ボランティアリーダーの養成などを通じた社員の自発的意思のサポート、活動に対する表彰など、社員の意識改革、行動改革を促すためにさまざまな活動を行っています。

「環境経営を促進する表彰制度」については、トピックス15ページを参照。

インターナショナル

リコーグループ環境大会

2002年12月に東京・大森事業所で開催された、「第9回リコーグループ環境大会」では、世界各極からの環境スタッフが集まる中、紙本副社長による環境経営の推進に向けてのスピーチや、「第1回環境経営活動賞^{*}」の表彰などが行われました。

^{*} 15ページを参照。



リコーグループ環境大会(第9回)

ごみゼロ活動

リコーグループは2001年度、全世界の生産拠点^{*1}でごみゼロ^{*2}を達成したほか、非生産拠点でもごみゼロを推進・達成しています。分別の徹底など、ごみゼロは

全員参加でないと達成できないため、社員の意識啓発に大きな効果があります。

^{*1} 2001年度までの環境行動計画で設定した範囲である、日本国内の全生産拠点およびリコーエレクトロニクス(米国)、リコーUKプロダクツ、リコーインダストリーフランス、リコーアジアインダストリー(中国)、台湾リコーで、ごみゼロを達成・維持しています。

^{*2} 18、49、56ページを参照。

ISO14001の認証取得

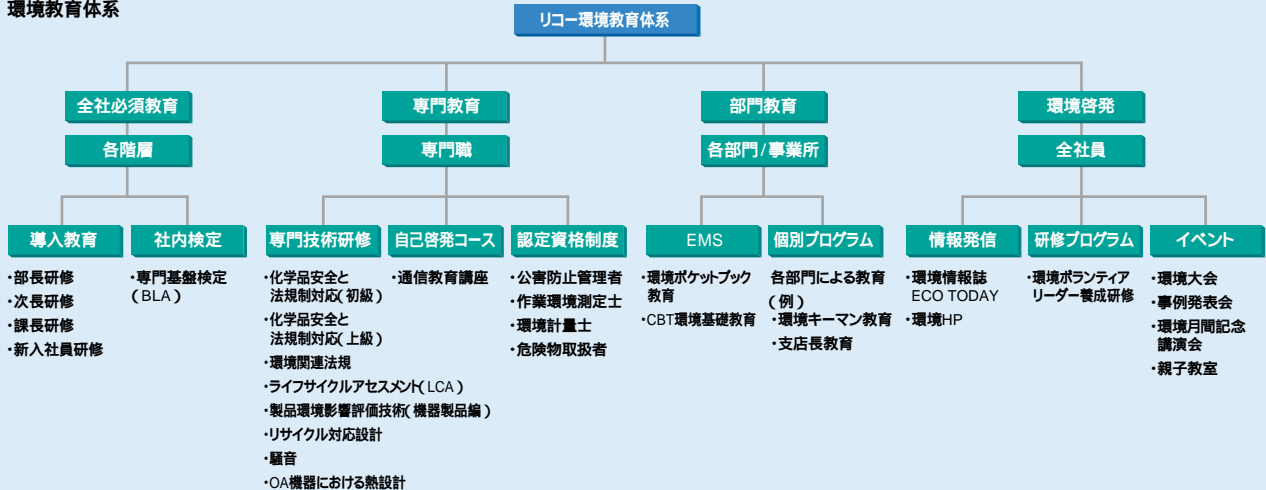
ISO14001の認証取得も、社員の意識啓発に大きな効果をもたらします。リコーグループは、生産拠点はもちろん、非生産拠点でも積極的にISO14001の認証取得を推進しています。

日本極

環境教育

日本国内のリコーグループでは、新入社員導入研修、設計技術者研修などを開講し、環境活動のプロフェッショナルを育成しています。また公害防止管理者など公的資格の取得も支援しています。

環境教育体系



環境関連講座(受講者数)

研修名	2002年度
リサイクル対応設計	41
製品環境影響評価技術(機器製品編)	45
環境関連法規	47
LCA	32
化学品安全と法規制対応 ~初級~	24
化学品安全と法規制対応 ~上級~	18
騒音	33
OA機器における熱設計	14
合計(人)	254

環境ボランティアリーダーの養成

リコーは、社員の環境ボランティア活動をサポートするために、1999年から「環境ボランティアリーダー養成プログラム^{*}」を実施しています。環境ボランティア活動は、社員の意識啓発の手段としても重要です。環境保全の意識は、頭で理解するだけでなく、実際に行動し、周りに広めて行くことが大切だからです。

^{*} 65ページを参照。

講演会による意識啓発

リコーは2001年度より、社員の意識啓発のために、環境月間記念講演会を開催しています。2002年度は、リコーが支援している「アフアの森^{*}」のC.W.ニコルさん、ブルネイ マングローブ保全^{*}推進者の樫尾さんをお招きし、基調講演会を行っていただきました。この講演には、外部の方々にもご参加いただきました。^{*} 63ページを参照。



環境月間記念講演

欧州極

欧州環境大会

オランダのリコーヨーロッパで2003年2月、過去最大規模の欧州環境大会が開催されました。欧州各国のリコー販売会社、NRG販売会社、レニエ販売会社、および欧州生産会社の環境・リサイクル推進責任者など18カ国から80名が参加しました。プログラムの中でも特に、弁護士によるWEEE(2003年2月発効の欧州リサイクル指令)のプレゼンテーションでは活発な質疑応答が行なわれ、参加者のWEEEへの高い関心が示されました。



欧州環境大会(2003年2月)

オランダ/リコーヨーロッパ

ヨーロッパの販売統括会社リコーヨーロッパでは、全員参加の環境経営を推進するため、社員の提案制度「スターアワード」をスタートさせました。提案内容を汎用性(グローバルに水平展開できるか)実現の容易性、セグメント環境会計^{*}、継続性などの7項目で評価し、採用案を提出した社員の名前で、会社が環境保全団体に100ユーロを寄付する仕組みです。2002年度は、「風力発電の導入」など5つの提案が採用され、5回の寄付が行われました。また、これによって風力発電の存在を知った社員10名が自宅の電力を風力発電に変更するなどの波及効果もありました。

^{*} 29ページを参照。

米州極

米州環境会議

米州の販売統括会社リコーコーポレーションは、リコー、セービン、レニエの各販売会社の環境担当者を中心とした四半期ごとの環境会議を開催しています。移動のための時間と環境負荷削減のために、TV会議システムを導入しています。

アメリカ/REI

アメリカの生産会社REI(Ricoh Electronics, Inc.)では、ごみゼロのレベル向上のために、社員からの5R^{*}に関する提案制度「Ideas for Excellence」を実施しています。2002年度上期は、提案されたアイデアの75%が実施されました。

^{*} 49ページを参照。

アメリカ/RC

アメリカの販売統括会社リコーコーポレーションと販売会社セービンは社員の意識啓発のために、米国のリサイクルデー(11月15日)に、社員の家にある使用済みの電子機器を回収し、シカゴにあるリコーグループのパートナーである「アメリカ中西部リサイクルセンター^{*}」でリサイクルしました。

^{*} 61ページを参照。